

甘楽の風

— 新井文月 展 —

大地の波動

Fuzuki Arai Exhibition

Wind of Kanra,
Vibration of the Earth

2025

11|14_{（金）} ▶ 12|14_{（日）}

Nagaoka Kesakichi Memorial Gallery
長岡今朝吉記念ギャラリー

開館時間：午前9:00 - 午後17:00（入館は午後16:30まで）

料金：高校生以上 / 200円 中学生以下 / 無料

会場：〒370-2202 群馬県甘楽郡甘楽町大字小幡544-2

TEL / FAX: 0274-74-7575

LIVE PAINTING

ライブペインティング（館内庭園）
11/23（日）13:00～開催



Nagaoka Kesakichi Memorial Gallery
長岡今朝吉記念ギャラリー



主催：株式会社アトリ工新井文月
共催：甘楽町、甘楽町教育委員会

甘楽町によせて ― 魂の故郷、創作の源泉

侍という存在に惹かれていた幼い頃、私は頻繁にこの地を訪れていました。織田家の血を引く大名が治めた小幡の城下町。その凜とした空気、石畳の道、歴史の重みを肌で感じられる風景は、私の想像力を無限に掻き立てました。それは、後の私の創作活動において、日本の精神文化の根源を探求する旅の原点であったと言えます。

群馬から東京、それから世界へと活動の場を広げ、そして今改めて故郷である群馬に拠点を移す決意をしました。その新たな門出を飾る最初の場所に、この愛すべき甘楽町、そして自然光が美しく差し込む長岡今朝吉記念ギャラリーを展示会場に選ぶのは、私にとって必然でした。

本展では、甘楽町が紡いできた豊かな歴史と文化の記憶を、私なりの解釈で描き出します。土地が持つ象徴的なテーマ―稲含山の神々しいまでの霊性、侍の甲冑からの勇壮なエネルギー、天引諏訪神社で舞う獅子の生命力、そして白倉の山々に潜む天狗の神秘―を、4つの連作として表現します。これは大地に刻まれた人々の祈りの波動をキャンバスに写し取る試みです。この地でしか生まれ得ない、新たなアートの息吹と作品群を、ぜひ体感してください。

新井文月

作者について

多摩美術大学で情報デザインを学んだ後、芸術家の道へ。

2014年のニューヨークでの初個展を皮切りに、その才能は国内外で高く評価されています。

彼の作品の根幹には、日本の古神道や修験道といった精神文化への深い探求があります。

特に、山中で出会った法螺貝の音に宇宙的な広がりや真理を見出し、そこから生まれた独



自のスタイルは、光、生命、そして森羅万象の繋がりを鮮烈に描き出します。

その活動は、2015年にアラブ日本芸術感謝賞を受賞。2024年にはユネスコ・チェアの30周年記念賞を受賞。単なる美術家の枠を超え、文化や思想の領域にまで影響を与える存在として、その動向は常に注目されています。